

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公表番号】特表2011-509244(P2011-509244A)

【公表日】平成23年3月24日(2011.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2011-012

【出願番号】特願2010-539934(P2010-539934)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

G 0 1 N 33/574 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 39/395 E

A 6 1 K 39/395 T

G 0 1 N 33/574 A

C 1 2 Q 1/68 A

C 1 2 N 15/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成24年3月19日(2012.3.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

CD24特異的標的化成分を含む、原発性脳腫瘍を治療するための薬学的組成物であって、対象における原発性脳腫瘍を治療するのに有効な条件下で投与される、前記薬学的組成物。

【請求項2】

原発性脳腫瘍を有する危険性がある対象へ投与される、請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項3】

CD24特異的標的化成分が、化学療法剤または放射性同位体へ連結されている、請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項4】

CD24特異的標的化成分が化学療法剤へ連結されている、請求項3記載の薬学的組成物。

【請求項5】

化学療法剤が、ジフテリア、リシン、またはコレラ毒素である、請求項4記載の薬学的組成物。

【請求項6】

CD24特異的標的化成分が放射性同位体へ連結されている、請求項3記載の薬学的組成物

。

【請求項 7】

原発性脳腫瘍が、神経膠腫、混合乏突起星細胞腫 (mixed oligo-astrocytoma)、神経膠芽腫、未分化星状細胞腫、乏突起神経膠腫、神経細胞腫、未分化神経外胚葉性腫瘍、異形成性神経上皮腫瘍、および神経節膠腫からなる群より選択される、請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項 8】

前記投与が、全身投与と、血管内投与と、脳室内投与と、脳、脳幹、または脊髄への実質内投与とからなる群より選択される、請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項 9】

CD24特異的標的化成分が抗体である、請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項 10】

前記投与により、腫瘍の容積が減少または消失する、請求項1記載の薬学的組成物。

【請求項 11】

前記投与により、腫瘍浸潤が減りかつ疾患進行が遅れる、請求項1記載の薬学的組成物。

。

【請求項 12】

CD24特異的標的化成分を含む、原発性脳腫瘍の移動性の広がりを予防するための薬学的組成物であって、

対象内での原発性脳腫瘍の移動性の広がりを予防するのに有効な条件下で投与される、前記薬学的組成物。

【請求項 13】

脳内での腫瘍の移動性の広がりの危険性がある対象へ投与される、請求項12記載の薬学的組成物。

【請求項 14】

CD24特異的標的化成分が、化学療法剤または放射性同位体へ連結されている、請求項12記載の薬学的組成物。

【請求項 15】

化学療法剤がCD24特異的標的化成分へ連結されている、請求項14記載の薬学的組成物。

【請求項 16】

化学療法剤が、ジフテリア、リシン、またはコレラ毒素である、請求項15記載の薬学的組成物。

【請求項 17】

放射性同位体がCD24特異的標的化成分へ連結されている、請求項14記載の薬学的組成物。

。

【請求項 18】

前記投与が、全身投与と、血管内投与と、脳室内投与と、脳、脳幹、または脊髄への実質内投与とからなる群より選択される、請求項12記載の薬学的組成物。

【請求項 19】

CD24特異的標的化成分が抗体である、請求項12記載の薬学的組成物。

【請求項 20】

患者サンプルにおける脳腫瘍の存在を検出する方法であって、

CD24抗原の存在またはCD24をコードする核酸分子の存在について患者サンプルを分析し、それによって、患者サンプルにおける脳腫瘍の存在が示される工程を含む、方法。

【請求項 21】

前記分析が、免疫反応においてCD24へ結合するCD24特異的抗体を用いて行われる、請求項20記載の方法。

【請求項 22】

前記分析が、ハイブリダイゼーション反応において自身の相補体へ結合する、CD24をコ

ードする核酸またはその相補体を用いて行われる、請求項20記載の方法。

【請求項 2 3】

前記分析が、増幅ハイブリダイゼーション反応において自身の相補体へ結合する、CD24をコードする核酸またはその相補体を用いて行われる、請求項22記載の方法。

【請求項 2 4】

サンプルが組織サンプルである、請求項22記載の方法。

【請求項 2 5】

対象における脳腫瘍の存在を検出するかまたは脳腫瘍の状態をモニタリングするための診断薬の製造における、標識されたCD24特異的標的化成分の使用。

【請求項 2 6】

標識が、放射性同位体、蛍光化合物、陽電子放出金属、および常磁性標識からなる群より選択される、請求項25記載の標識されたCD24特異的標的化成分の使用。

【請求項 2 7】

標的化成分が、CD24特異的抗体を含む、請求項25記載の標識されたCD24特異的標的化成分の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

その顕著な発現が非腫瘍脳細胞によって共有されない、原発性神経膠腫および他の原発性脳腫瘍内の脳腫瘍開始細胞の選択マーカーとして、CD24は、選択的抗原を示し、これにより生検材料または他の患者サンプル中の腫瘍形成を診断し、かつ治療戦略としての破壊のために腫瘍開始細胞を選択的に標的化する。

[本発明1001]

対象における原発性脳腫瘍を治療する方法であって、

対象における原発性脳腫瘍を治療するのに有効な条件下で、CD24特異的標的化成分を対象へ投与する工程を含む、方法。

[本発明1002]

原発性脳腫瘍を有する危険性がある対象を選択する工程をさらに含む方法であって、CD24特異的標的化成分が選択された対象へ投与される、本発明1001の方法。

[本発明1003]

CD24特異的標的化成分が、化学療法剤または放射性同位体へ連結されている、本発明1001の方法。

[本発明1004]

CD24特異的標的化成分が化学療法剤へ連結されている、本発明1003の方法。

[本発明1005]

化学療法剤が、ジフテリア、リシン、またはコレラ毒素である、本発明1004の方法。

[本発明1006]

CD24特異的標的化物質が放射性同位体へ連結されている、本発明1003の方法。

[本発明1007]

原発性脳腫瘍が、神経膠腫、混合乏突起星細胞腫 (mixed oligo-astrocytoma)、神経膠芽腫、未分化星状細胞腫、乏突起神経膠腫、神経細胞腫、未分化神経外胚葉性腫瘍、異形成性神経上皮腫瘍、および神経節膠腫からなる群より選択される、本発明1001の方法。

[本発明1008]

前記投与が、全身投与と、血管内投与と、脳室内投与と、脳、脳幹、または脊髄への実質内投与とからなる群より選択される、本発明1001の方法。

[本発明1009]

CD24特異的標的化成分が抗体である、本発明1001の方法。

[本発明1010]

前記投与により、腫瘍の容積が減少または消失する、本発明1001の方法。

[本発明1011]

前記投与により、腫瘍浸潤が減りかつ疾患進行が遅れる、本発明1001の方法。

[本発明1012]

対象における原発性脳腫瘍の移動性の広がりを予防する方法であって、

対象内での原発性脳腫瘍の移動性の広がりを予防するのに有効な条件下で、CD24特異的標的化成分を対象へ投与する工程を含む、方法。

[本発明1013]

脳内での腫瘍の移動性の広がりの危険性がある対象を選択する工程をさらに含む方法であって、CD24特異的標的化成分が選択された対象へ投与される、本発明1012の方法。

[本発明1014]

CD24特異的標的化成分が、化学療法剤または放射性同位体へ連結されている、本発明1012の方法。

[本発明1015]

化学療法剤がCD24特異的標的化成分へ連結されている、本発明1014の方法。

[本発明1016]

化学療法剤が、ジフテリア、リシン、またはコレラ毒素である、本発明1015の方法。

[本発明1017]

放射性同位体がCD24特異的標的化成分へ連結されている、本発明1014の方法。

[本発明1018]

前記投与が、全身投与と、血管内投与と、脳室内投与と、脳、脳幹、または脊髄への実質内投与とからなる群より選択される、本発明1012の方法。

[本発明1019]

CD24特異的標的化成分が抗体である、本発明1012の方法。

[本発明1020]

対象における脳腫瘍の存在を診断する方法であって、

患者サンプルを提供する工程、および

CD24抗原の存在またはCD24をコードする核酸分子の存在について患者サンプルを分析し、それによって、対象における脳腫瘍の存在が示される工程を含む、方法。

[本発明1021]

前記分析が、免疫反応においてCD24へ結合するCD24特異的抗体を用いて行われる、本発明1020の方法。

[本発明1022]

前記分析が、ハイブリダイゼーション反応において自身の相補体へ結合する、CD24をコードする核酸またはその相補体を用いて行われる、本発明1020の方法。

[本発明1023]

前記分析が、増幅ハイブリダイゼーション反応において自身の相補体へ結合する、CD24をコードする核酸またはその相補体を用いて行われる、本発明1022の方法。

[本発明1024]

サンプルが組織サンプルである、本発明1022の方法。

[本発明1025]

対象における脳腫瘍の存在を診断するかまたは脳腫瘍の状態をモニタリングする方法であって、

対象を提供する工程、および

CD24抗原の存在に基づいて脳腫瘍の存在または解剖学的分布について対象を分析し、それによって、対象における脳腫瘍の存在を診断するかまたは脳腫瘍の状態をモニタリング

する工程
を含む、方法。

[本発明1026]

前記分析が、対象の脳を画像化する工程を含む、本発明1025の方法。

[本発明1027]

前記分析が、免疫反応においてCD24へ結合するCD24特異的抗体を用いて行われる、本発明1025の方法。